



部局名 農学部 海洋生物環境科学科

担当: ( 深見 裕伸 )

テーマ 宮崎県の海の豊かさ 日南市大島で新種発見

## 特色ある取組

### 新種発見1 ソフトコーラルのチヂミウミアザミ属の新種を発見

黒潮生物研究所の古井戸 樹(農学工学研究科修了)氏、今原幸光氏の研究グループと、宮崎県日南市の日南大島周辺に生息するソフトコーラルについて、分子系統学および形態分類学的な調査を行いました。その結果、1種についてはチヂミウミアザミ属 *Sympodium* の新種であることが判明した。この新種は、体の骨片が他のチヂミウミアザミ属の種とは大きく異なる特徴を持っており、その骨片の表面が牛の第3胃である葉状胃(センマイ)に似ていること、また、標本が採集された宮崎県が宮崎牛の産地であることから、この新種を *Sympodium omasum* として記載し、センマイチヂミウミアザミと命名しました。

### 新種発見2 造礁サンゴのウネカメノコキクメイシ属 *Paragoniastrea* の新種を発見

岸大悟さん(農学研究科修士課程)、野村恵一氏(鯖浦海中公園研究所)、野澤洋耕教授(琉球大学熱帯生物圏研究センター)、新垣誠司准教授(九州大学理学部附属天草臨海実験所)の研究グループで、宮崎県日南市大島を中心に、九州各地、和歌山県および台湾北部に生息する造礁性イシサンゴのミダレカメノコキクメイシとその形態変異について、分子系統学および形態分類学的な調査を行いました。

その結果、これまでミダレカメノコキクメイシの形態多型の一つと考えられていたものが新種であることが判明し、多様な色彩を持つことからこの新種を *Paragoniastrea variabilis* と記載し、ヘンゲカメノコキクメイシと命名しました。

## 期待できる成果・評価 など

研究を続けることで、宮崎県の日南大島周辺海域の種多様性が高いことを証明できます。まだ名前のついていない種も複数いることが分かっているため、今後、さらに新種として報告されるものが増加すると想定されます。今後の環境保全を考えていく上で、どのような種が生息しているか明らかにしていくことは重要です。



センマイチヂミウミアザミ



ヘンゲカメノコキクメイシ

## 参考URL

■ 海洋生物環境科学科

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/fishery/>

■ のうがく図鑑

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-fishery/post-11.html>